

科目名	社会福祉演習 I J					単位	2.0
担当教員	林 博幸						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	3	授業番号	4240

●授業のテーマ

社会福祉をめぐる新たな潮流をつかむ

●到達目標

「社会福祉基礎構造改革」と称される一連の政策・制度の改革動向について、自分が関心を持てる分野・テーマを明らかにし、必要な知識・情報を得る。また、それらを整理したプリント資料を作成・配布し、プレゼンテーションや討議を行う力を身につける。

●学習内容(授業概要)

社会福祉およびその関連領域も含めて各自の興味・関心を交流し、それを研究として深めていくための視点や学習方法を習得する。とくに、今日の新しい動向に関する知識をしっかりと得ること、必要な資料・情報等の入手と整理、プレゼンテーションや討議のための論点提起など一連の手順を身につけることに主眼を置く。

また、ゼミでの振り返り、交流を通じてお互いのつながりを深めていく。

●学習内容(授業計画)

1. 自己紹介, 1年間の学習, ゼミ活動で目指すこと
2. 各自の関心・テーマの交流, 年間計画の作成
3. 社会福祉をめぐるトピック (ビデオ等を用いて)
4. 研究・発表の方法とゼミ運営について
5. 個人の研究発表と議論 (高齢者福祉)
6. (障害者福祉)
7. (児童福祉)
8. (地域福祉, その他)
9. 社会福祉の事業・地域活動の現場に触れる一見学, 参加
10. 個人研究の発表と議論 (高齢者福祉)
11. (障害者福祉)
12. (児童福祉)
13. (地域福祉, その他)
14. 社会福祉の最前線を探る (ビデオ等を用いて)
15. 半期のまとめー各自の成果と今後の学習課題の交流

●準備学習・事後学習の内容

研究発表の予定者は事前の準備を早めに行い、相談・指導を経て配付資料の作成や議論に向けた論点等を用意する。他のメンバーは毎回のテーマに即した関心をもって議論に臨むようにする。

事後には授業を振り返り、残った疑問や追加説明を要する点などを次回までに調べて補足する。

●成績評価方法・基準

- 1) 発表内容や議論への参加状況…60%

2) 期末のレポート試験 …40%

●テキスト（必携）

特に用いない。

●参考文献／その他

適宜紹介したり，プリント等を配布する。

●履修上の注意

常に社会福祉をめぐる新しい動向に関心を寄せて情報を収集すること。

個人の研究発表の計画（分野や順番）は，実際の参加者の関心に即して調整する。